

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 東海財務局長

【提出日】 平成30年7月13日

【四半期会計期間】 第34期第1四半期（自平成30年3月1日 至平成30年5月31日）

【会社名】 株式会社メディカルー光

【英訳名】 Medical Ikkou Co., Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 南野 利久

【本店の所在の場所】 三重県津市西丸之内36番25号

【電話番号】 059 - 226 - 1193（代表）

【事務連絡者氏名】 代表取締役専務取締役管理本部長 櫻井 利治

【最寄りの連絡場所】 三重県津市西丸之内36番25号

【電話番号】 059 - 226 - 1193（代表）

【事務連絡者氏名】 代表取締役専務取締役管理本部長 櫻井 利治

【縦覧に供する場所】 株式会社メディカルー光 東京支店
（東京都港区六本木一丁目4番5号 アークヒルズサウスタワー3階）
株式会社東京証券取引所
（東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第33期 第1四半期 連結累計期間	第34期 第1四半期 連結累計期間	第33期
会計期間	自 平成29年3月1日 至 平成29年5月31日	自 平成30年3月1日 至 平成30年5月31日	自 平成29年3月1日 至 平成30年2月28日
売上高 (千円)	7,757,566	7,996,222	30,914,968
経常利益 (千円)	377,408	221,739	1,384,142
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円)	239,553	209,235	1,238,263
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	268,172	140,763	1,358,533
純資産額 (千円)	8,286,989	9,364,828	9,300,708
総資産額 (千円)	25,764,949	26,966,614	25,723,792
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	125.02	109.19	646.24
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	32.2	34.7	36.2

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社及び当社の関係会社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社の異動は、次のとおりであります。

(調剤薬局事業)

当社は、平成30年3月1日付で株式会社エファアの全株式を取得し子会社としております。

(不動産事業)

株式会社メディスナー光は、平成30年3月1日付で当社を存続会社として合併いたしました。

この結果、平成30年5月31日現在では、当社グループは、当社、連結子会社11社及びその他の関係会社1社により構成されております。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ(当社及び連結子会社)が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用情勢や企業収益の改善が進むなか、個人消費や設備投資において持ち直しの動きがみられ、緩やかな景気回復基調が続きました。

平成30年4月に、調剤報酬改定および薬価改定とともに介護報酬改定が実施されました。調剤薬局事業におきましては、地域包括ケアシステムの構築が進むなか、薬局・薬剤師に求められる役割が大きく変化してきている一方で、今回の改定により、チェーン薬局や大型門前薬局を取り巻く環境は厳しさを増しております。当社グループは、従来の方針通り安全性を最優先としつつ、地域社会から信頼される「かかりつけ薬局」づくりを目指す取り組みを進めております。また、ヘルスケア事業におきましては、介護サービス利用者の増加に伴い、安定的な介護人材の確保および介護サービスの質の向上に取り組んでおります。

この結果、当第1四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高7,996百万円(前年同期比3.1%増)、営業利益230百万円(前年同期比39.1%減)、経常利益221百万円(前年同期比41.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益209百万円(前年同期比12.7%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

調剤薬局事業

調剤薬局事業におきましては、新たに1店舗を取得するとともに1店舗を開局し、当第1四半期末における当社グループの調剤薬局は合計95店舗となりました。前期開局した店舗および3月にグループ化した子会社が寄与し売上が増加した一方で、平成30年4月の調剤報酬改定および薬価改定の影響を受け、増収減益となりました。この結果、売上高は5,820百万円(前年同期比2.9%増)、営業利益337百万円(前年同期比24.6%減)となりました。

ヘルスケア事業

ヘルスケア事業におきましては、平成30年4月に介護付有料老人ホーム「ハーモニーハウス甲賀」(滋賀県)を開設いたしました。これにより、当社グループの居住系介護施設は27施設、996床となりました。有料老人ホームの継続的な入居者確保を推進し増収となりましたが、新規開設による初期費用の発生などにより減益となりました。この結果、売上高1,516百万円(前年同期比2.9%増)、営業利益61百万円(前年同期比31.5%減)となりました。

医薬品卸事業

医薬品卸事業におきましては、政府の後発医薬品使用促進策を受けて三重県、岐阜県、滋賀県および愛知県を中心に積極的な営業活動により売上高は伸長しましたが、平成30年4月に実施された薬価改定や価格競争の激化などにより減益となりました。この結果、売上高626百万円(前年同期比5.5%増)、営業利益19百万円(前年同期比18.4%減)となりました。(内部売上を含む売上高は846百万円となり、前年同期比で6.8%増加しました。)

不動産事業

不動産事業におきましては、賃貸不動産からの収入によって、売上高31百万円(前年同期比0.7%減)、営業利益11百万円(前年同期比37.7%減)となりました。

また、投資事業におきましては、投資有価証券売却益95百万円を計上しております。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	6,000,000
計	6,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成30年5月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成30年7月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	2,035,000	2,035,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	2,035,000	2,035,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成30年3月1日～ 平成30年5月31日		2,035,000		917,000		837,050

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成30年2月28日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成30年2月28日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 118,900		
完全議決権株式(その他)	普通株式 1,915,900	19,159	
単元未満株式	普通株式 200		
発行済株式総数	2,035,000		
総株主の議決権		19,159	

【自己株式等】

平成30年2月28日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
株式会社メディカルー光	三重県津市西丸之内36番25号	118,900		118,900	5.84
計		118,900		118,900	5.84

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成30年3月1日から平成30年5月31日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成30年3月1日から平成30年5月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,655,258	6,255,029
売掛金	4,237,105	4,338,983
商品	1,133,321	1,120,460
その他	655,249	751,723
貸倒引当金	3,717	3,751
流動資産合計	11,677,218	12,462,444
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,293,144	6,696,970
土地	3,015,869	3,076,005
その他（純額）	809,103	445,527
有形固定資産合計	10,118,117	10,218,502
無形固定資産		
のれん	923,671	1,549,574
その他	202,619	202,664
無形固定資産合計	1,126,290	1,752,238
投資その他の資産		
投資有価証券	1,510,106	1,265,268
敷金及び保証金	794,683	761,301
その他	497,375	506,858
投資その他の資産合計	2,802,166	2,533,428
固定資産合計	14,046,573	14,504,169
資産合計	25,723,792	26,966,614
負債の部		
流動負債		
支払手形	28,557	33,309
買掛金	3,383,300	3,748,316
短期借入金	20,000	27,000
1年内返済予定の長期借入金	3,687,704	3,858,423
未払法人税等	515,273	177,379
賞与引当金	213,924	366,322
その他	937,024	783,881
流動負債合計	8,785,783	8,994,633
固定負債		
長期借入金	6,331,502	7,335,863
リース債務	333,548	325,958
退職給付に係る負債	505,644	522,957
その他	466,605	422,373
固定負債合計	7,637,300	8,607,152
負債合計	16,423,083	17,601,786

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	917,000	917,000
資本剰余金	837,050	837,050
利益剰余金	7,364,596	7,497,188
自己株式	199,317	199,317
株主資本合計	8,919,329	9,051,921
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	379,600	311,573
退職給付に係る調整累計額	1,778	1,333
その他の包括利益累計額合計	381,378	312,907
純資産合計	9,300,708	9,364,828
負債純資産合計	25,723,792	26,966,614

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年5月31日)
売上高	7,757,566	7,996,222
売上原価	6,848,189	7,177,663
売上総利益	909,377	818,558
販売費及び一般管理費	530,376	587,597
営業利益	379,000	230,961
営業外収益		
受取利息	321	294
受取配当金	343	329
助成金収入	5,762	3,358
売買有価証券運用益	4,807	-
その他	8,670	5,443
営業外収益合計	19,904	9,426
営業外費用		
支払利息	18,445	16,527
売買有価証券運用損	-	885
その他	3,050	1,235
営業外費用合計	21,496	18,648
経常利益	377,408	221,739
特別利益		
固定資産売却益	-	233
投資有価証券売却益	8,723	95,619
補助金収入	5,120	-
特別利益合計	13,843	95,853
特別損失		
固定資産売却損	8,592	-
固定資産除却損	237	-
固定資産圧縮損	5,120	-
賃貸借契約解約損	2,000	-
特別損失合計	15,949	-
税金等調整前四半期純利益	375,302	317,593
法人税、住民税及び事業税	186,664	134,812
法人税等調整額	50,915	26,454
法人税等合計	135,749	108,357
四半期純利益	239,553	209,235
親会社株主に帰属する四半期純利益	239,553	209,235

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年5月31日)
四半期純利益	239,553	209,235
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	30,234	68,027
退職給付に係る調整額	1,615	444
その他の包括利益合計	28,619	68,471
四半期包括利益	268,172	140,763
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	268,172	140,763

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結の範囲の重要な変更)

当第1四半期連結会計期間より、連結子会社であった株式会社メディシンー光は当社と合併したため連結の範囲から除外しております。また、新たに子会社となった株式会社エファアを連結の範囲に含めております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年5月31日)
減価償却費	152,411千円	161,031千円
のれんの償却額	38,571千円	47,976千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成29年3月1日至平成29年5月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成29年2月22日 取締役会	普通株式	76,643	40.00	平成29年2月28日	平成29年5月1日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自平成30年3月1日至平成30年5月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成30年3月27日 取締役会	普通株式	76,643	40.00	平成30年2月28日	平成30年5月1日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成29年3月1日至平成29年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	調剤薬局 事業	ヘルスケア 事業	医薬品卸 事業	不動産事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	5,657,507	1,473,626	594,221	32,210	7,757,566	-	7,757,566
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	91	198,708	9,000	207,799	207,799	-
計	5,657,507	1,473,717	792,930	41,210	7,965,366	207,799	7,757,566
セグメント利益	447,347	89,917	24,041	17,712	579,020	200,019	379,000

(注)1 セグメント利益の調整額 200,019千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用217,643千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自平成30年3月1日至平成30年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	調剤薬局 事業	ヘルスケア 事業	医薬品卸 事業	不動産事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	5,820,850	1,516,662	626,727	31,982	7,996,222	-	7,996,222
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	91	219,904	900	220,895	220,895	-
計	5,820,850	1,516,753	846,631	32,882	8,217,118	220,895	7,996,222
セグメント利益	337,124	61,608	19,624	11,043	429,400	198,438	230,961

(注) 1 セグメント利益の調整額 198,438千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用216,565千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年5月31日)
1株当たり四半期純利益金額	125円02銭	109円19銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	239,553	209,235
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(千円)	239,553	209,235
普通株式の期中平均株式数(株)	1,916,083	1,916,083

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【その他】

平成30年3月27日開催の取締役会において、平成30年2月28日の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり期末配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	76,643千円
1株当たりの金額	40円00銭
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	平成30年5月1日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成30年7月12日

株式会社メディカルー光
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 原 田 誠 司 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 増 見 彰 則 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社メディカルー光の平成30年3月1日から平成31年2月28日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成30年3月1日から平成30年5月31日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成30年3月1日から平成30年5月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社メディカルー光及び連結子会社の平成30年5月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。